

3つの特徴

1. 対話を中心にした鑑賞活動

少人数のグループに分かれて対話をしながら鑑賞活動を展開します。

自分の気持ちや考えを伝えあう対話のプロセスの中で、周りの人との違いを共有し、新たな発見を得ることができます。その中で個々が自分なりの意味や価値を作りだし、互いの個性や文化を理解し認め合うきっかけとなります。

2. 地域の大学生や社会人がガイド

グループごとにガイドスタッフが同行します。

研修を受講した地域の大学生や社会人、水戸芸術館のATMフェイス(館内係員)など、様々な立場や年齢で構成されるガイドスタッフが、子どもたちの鑑賞と対話をサポートします。

3. 送迎バスを手配！

学校と芸術館を結ぶ送迎バスを運行。児童、生徒の人数に合わせてバスを用意します。

*送迎バスを利用せず、徒歩や路線バス、また学校が手配したバスでもご参加いただけます

プログラムの流れ(60-90分)

自己紹介 マナー説明



作品鑑賞

グループに分かれて
ガイドスタッフと鑑賞！



ワークショップ

感じたこと
考えたことを表現します



鑑賞できる展覧会

中谷英二子展 (なかやふじこ: 1933年、札幌生まれ)

中谷さんは、人工的に霧を発生することに成功させ、彫刻作品として世界各地で発表しているアーティストです。1970年の大阪万博で霧の彫刻を発表して以来、科学、技術、自然、芸術を横断する作品を制作してきました。霧の彫刻は、公園や橋、美術館などを霧で包みます。その日の風や気温によって霧がかたちを変えるので、「風が気ままに霧を掘ってくれる」と中谷さんは言っています。

水戸芸術館では広場で霧の彫刻を展示します。本展覧会は図工美術の授業だけでなく、理科や生活科などの授業でもつながります。鑑賞後の授業にもぜひお役立てください。

中谷英二子 (Fog Performance #03779 "London Fog") 2017
撮影: 島田清夏



事前にご相談ください！

- 実施日時以外の参加
- 広場での昼食
- タワーの見学
- 展覧会の事前説明(出張授業)
- ガイドスタッフの研修への見学、参加
- バリアフリー、特別なケアを必要とする児童・生徒の方への対応
- 会場下見ほか

お問い合わせ Tel.029-227-8120

水戸芸術館現代美術センター
教育プログラム担当 佐藤、森山
〒310-0063 水戸市五軒町1-6-8

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団 協力：株式会社タビットアーツ、アサヒグループホールディングス株式会社

図版(表裏ともに):あーとバス 2017の様子

デイヴィット・シュリグリー「ルーズ・ユア・マインドーようこそダークなせかいへ」2017-2018、水戸芸術館現代美術ギャラリー 特別協力:プリティッシュ・カウソル

